

拠点名称：インテリジェント養殖を基軸にした「ながさきBLUEエコノミー」形成拠点

代表機関	長崎大学	プロジェクトリーダー	征矢野 清 長崎大学 海洋未来イノベーション機構 機構長／教授
幹事自治体	長崎県	幹事機関	（企業等）協和機電工業株式会社
参画機関	（大学等）長崎総合科学大学、活水女子大学、高知大学 （企業等）公益財団法人長崎県産業振興財団、古野電気株式会社、ジャパンアクアテック株式会社、日東製網株式会社、粕谷製網株式会社、フィード・ワン株式会社、十八親和銀行、住友商事九州株式会社長崎支店、株式会社長崎稲佐山観光ホテル、長崎魚市株式会社、平野水産（針尾漁業協同組合）、水産研究・教育機構水産技術研究所、長崎県総合水産試験場		

プロジェクトの概要

長崎の基幹産業である水産業、とりわけ養殖業の再生は、地域活性化の切り札の一つになり得る。本提案では、(1) IT、AI、ロボット、潮流発電などの技術導入、(2)低魚粉飼料と適正給餌による飼料代軽減、安全安心魚の生産、オンデマンド完全養殖による育て方改善、(3)安定した生産の基盤となる販売流通制度の改善や地域独自の規格制定等による経営構造の改革、の研究開発に取り組み、「養殖DX」の実現を推進する。この結果、産業人口の減少に対応した低労働力・低コスト養殖、環境に配慮した魚の生産と安定流通が実現でき、海洋食料産業に携わる人々が豊かさを実感できる地域社会を目指す。また、海を守り、海と共生しながら持続的に発展することのできる地域社会を形成する。

